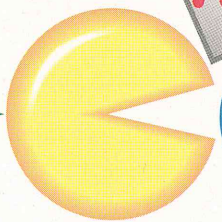
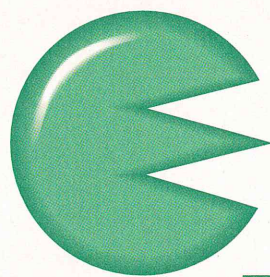


Vol. 4

平成12年7月



Hino

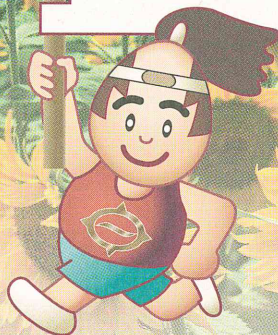


エコー

ごみゼロ社会をめざそう

発行:日野市環境共生部リサイクル推進課

☎581-0444 Fax 586-6606



2000年



10月・ごみの出し方が変わります

直前のごみ出しは控えてください。

ごみ出しは今のうちから計画的に

10月からは、可燃ごみと不燃ごみについて市指定の袋を購入していただき、それに入れて出されたものだけを回収いたします。そのため、10月の変更直前に大量のごみが出てくることが予想されます。クリーンセンターでは一日に処理しきれないほどのごみが出されると、あふれた分は他市にお金を払って処理をお願いするという事態にもなりかねません。このようなことにならないように、物置や押入の整理をしてごみを10月直前に出してしまおうと考えるいらっしゃる方は「早め早めに」出してください。



10月直前の大量のごみ出しは「厳禁」

こんなにたくさん出したら処理しきれないよ!



昭和57年 粗大ごみ置き場の廃止直前に大量に出された粗大ごみ。今後は、ごみを出さず、今のうちから片付けを始めてください。

説明会でよく出るQ&A

ごみの出し方が変更になる10月まであと約3ヶ月となりました。これまでごみ改革の説明会は350回を超え、出席された多くの方々からは、今後のごみの出し方について熱心なご質問をいただいております。

今号では、10月からのごみの出し方の概要と、今までの説明会の中で多く出された質問などをお知らせします。

新収集方式へスムーズに移行できるよう、みなさんのご協力をお願いします。

日野市のごみの出し方は10月から変更になります



Q 詳しい分別の仕方を教えてください。

A ごみ改革の中で分別の徹底はたいへん重要です。可燃ごみ、不燃ごみ、資源物は、地域ごとに曜日を決めて収集します。8月末に各家庭に配布予定のカレンダーの中で細かい分別方法をお知らせします。

現在、分別で疑問のある方はお気軽にリサイクル推進課(TEL 5810444・FAX 5866606)へお問い合わせください。カレンダー作成の際の参考にさせていただきます。

見ればわかるカレンダーを
目指します

Q 収集時間はどのくらいですか？

A 収集方法の変更に伴い、効率のよい収集を心がけますが、作業員が慣れ、収集に向う時間が一定になるまでは少し時間がかかります。(1〜2ヶ月くらいかかると考えています。定着すればほぼ一定の時間に伺えるようになります。)

Q 自分の家の庭から出た枝葉の処理方法は？

A 10月からは指定袋に入るものは指定袋に入れていただくこととなります。それより大きいものについては、従来どおり一束200円で粗大ごみとして申し込んで出していただきます。将来的には枝葉もチップ化や堆肥化を図っていきたく考えています。

Q 物置に古いペンキが少し残っているのですが、どうしたらいいですか？

A ペンキなどは使い切った缶だけを不燃ごみで出していただくのですが、中身が残っているものは、不燃ごみ処理施設の爆発の原因となります。使い切れなくて少しだけ残っているペンキは、中身を不要な布などにしみ込ませ、可燃ごみとして出してください。

クリーンセンターごみ焼却炉 ダイオキシン対策工事3割以上のごみ減量を

クリーンセンターにある焼却炉は、現在の国の示しているダイオキシンの排出基準をクリアしてありますが、今後その基準は更に厳しくなります。それをクリアできる焼却施設にするために、今年10月から2炉ある内の1炉を止め、工事に入ります。クリーンセンター焼却炉の可燃ごみの処理能力は1炉1日あたり110トンです。現在日野市の可燃ごみ量は1日あたり150トンで、超過してしまつた分は他市の焼却炉に持ち込み、お金を払って処理しなければなりません。10月のごみの出し方変更に合わせて、可燃ごみが3割以上減ればその必要は無くなります。

7月には市長が自ら駅頭で、ダイオキシン対策工事のためのごみ減量

日野市クリーンセンター
ダイオキシン類排出濃度測定値
(単位:ng ナノグラム)

年度	10年度	11年度
測定値	1号炉 8.5 2号炉 21	1号炉 5.9 2号炉 9.0

厚生省のダイオキシン排出基準
(単位:ng ナノグラム)

平成14年度 11月30日まで	80
平成14年度 12月1日から	1

ng…ナノグラム:10億分の1グラム

のお願いや、10月からのごみの出し方変更についての協力依頼をいたします。ごみを3割以上減量し、焼却炉の一時停止による他市への焼却依頼という事態を、未然に防がなければなりません。市民のみなさんにさらなるご理解をいただき実現したいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

持ち込みごみは 控えてください

現在、家庭ごみ及び事業系ごみはクリーンセンターで処理できるものに限ります。持ち込みの場合、kgあたり17円で受け入れていただきます。10月直前に大量にごみが出ると、処理しきれないごみがあふれてしまう恐れがあります。また、ダイオキシン対策工事の建設機械が入り込むので、クリーンセンターへのごみの持ち込みは大変危険になります。極力控えていただくようお願いいたします。

ごみ処理手数料が変わります
10月より搬入されるごみの処理手数料が変更になります。全て1kgにつき25円になります。

収集車の標語が 決まりました

新収集車をお楽しみに

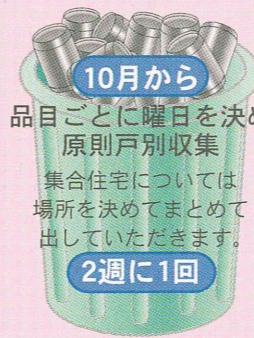
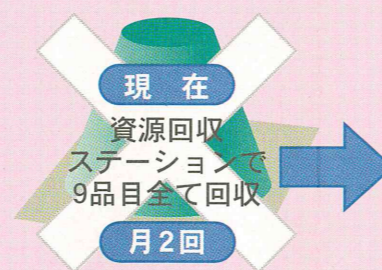


5月15日付広報「ひのこ」で新しいごみ収集車に掲げる標語を募集したところ、25点の応募がありました。その中で4点が選ばれましたのでご紹介いたします。

- 「しっかり分別しごみ減量」
- 「(新井 対野公夫さんの作品)
- 「分別は捨てるマナーの第一歩」
- 「(多摩平 下田和子さんの作品)
- 「活かそう資源、守ろう地球」
- 「(落川 古谷正子さんの作品)
- 「我が家ではこまめに分別ごみ減量」
- 「(多摩平 九沢清吉さんの作品)

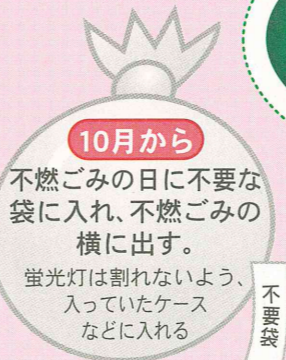
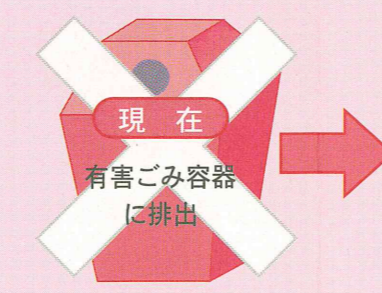
10月からの ごみ・資源の 出し方

資源物



※資源物は料金がかかりません
かん・びん・PETボトルは袋に入れず、バラで出させていただきます。
バケツ等に入れて出してください

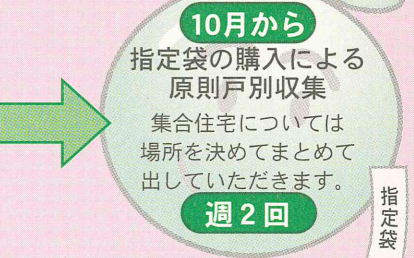
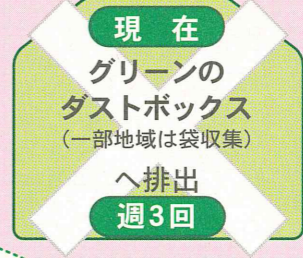
有害ごみ



粗大ごみ

電話申込をしてシールを買い、貼って出します。(今までと変更はありません)

可燃ごみ

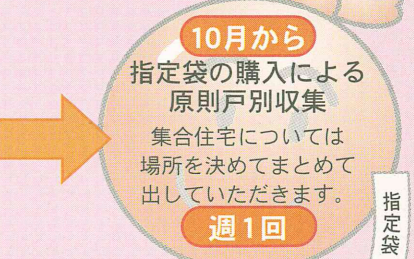


市指定収集袋の価格

家庭用	
小袋(10ℓ)	20円/1枚
中袋(20ℓ)	40円/1枚
大袋(40ℓ)	80円/1枚
事業用	
特大袋(45ℓ)	300円/1枚

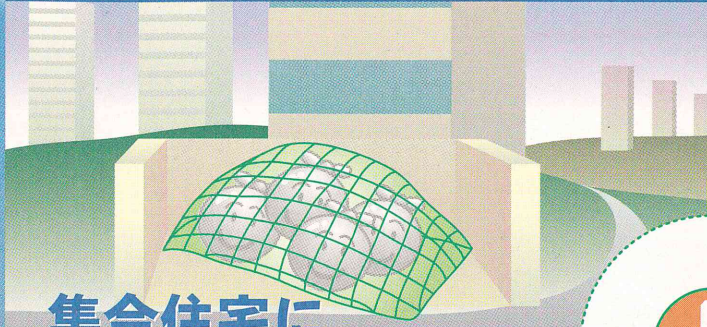
※可燃用・不燃用とも
※全て10枚1セットで販売(内税)

不燃ごみ



×印のものは9月いっぱいまで廃止します。

HOT NEWS



集合住宅に カラスネットを貸与します

ダストボックス撤去に伴い、カラスや猫などの害を防ぐためにネットを購入しなければならぬ集合住宅もあると思われまます。準備が間に合わないところには今年度に限り申請を受け付けます。

申請書は市役所1階市民課 七生支所 豊田駅連絡所にありますので、記入してリサイクル推進課へ提出してください。

ごみ改革の説明会などでみなさんにお知らせしてきた「ごみ相談パトロール隊」の正式名称が決まりました。名前は「まちの分別屋さん」です。主な任務はごみ・資源の分別相談や高齢者、障害をお持ちの方のごみ出しのお手伝いなどです。

当面は収集ルートの調査や不法投棄のパトロールなどで街に出ていますので、見かけたときには気軽に声をかけてください。

「まちの分別屋さん」発足



事業者のみなさんへ

ごみ減量とリサイクルにご協力を

お店・会社などの営利を目的とする事業所ならびに行政や教育・福祉などの公共公益施設から発生するごみは全て事業系廃棄物となります。これらのごみは廃棄物処理法等関係法令に基づき、事業者は自らごみの発生を抑制し、再利用の促進を図ることにより減量に努め、事業活動に伴って生じたごみはその責任において適正に処理することになっています。

正しく
出しましょう！



10月からのごみ処理方法について

事業所のごみは自己処理が原則ですが、自ら運搬し、処分することが困難な場合は、市から収集・運搬及び処分の許可を受けている業者に依頼してください。また、ごみの排出量が少量で1回の排出量が事業系特大袋(1枚300円)2袋以内の事業所は、一般家庭ごみの収集と一緒に市が収集いたします。市の収集を希望する事業所は「事業系ごみ戸別収集依頼書」が必要になります。

「事業系ごみ戸別収集依頼書」の提出について

10月から市の収集を希望する事業所は、「事業系ごみ戸別収集依頼書」(以下「依頼書」という)の提出をお願いしていますが、「依頼書」はNTTタウンページ情報に掲載されている約4,200件の事業所には発送していますが、平成11年8月現在、タウンページに掲載されていない事業所には「依頼書」が発送されておられません。10月から市の収集を希望する事業所で、まだ「依頼書」が届いていない事業所または未提出の事業所はお手数ですが、リサイクル推進課へ問い合わせ願います。ご連絡のない事業所のごみは10月からの収集ができませんので、戸別収集を希望される事業所は必ずご連絡をお願いいたします。

この情報誌「エコー」は、環境(Environment)と協力する(Cooperate)の頭文字が皆さんのもとへ響き、それが大きな反響となって広がって行くことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減って行き、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。